

# 第12回 天然アユ生態調査実行委員会議事要旨

## 1. 会議概要

- 日 時：令和2年2月14日（金）13:30～15:40
- 場 所：豊田市職員会館3階第1部室
- 出席者（規約の名簿順）
  - （アドバイザー）高橋 勇夫（たかはし河川生物調査事務所 所長）
  - （アドバイザー）村上 哲生（中部大学 教授）
  - （アドバイザー）内田 臣一（愛知工業大学 教授）
  - （アドバイザー）赤堀 良介（愛知工業大学 准教授）
  - （会 長）伊藤 昌明（矢作川漁業協同組合 学識経験理事）
  - （委 員）新見 克也（矢作川天然アユ調査会 会長）
  - （委 員）神本 崇（国土交通省 中部地方整備局豊橋河川事務所 事業対策官）
  - （委 員）大木 克彦（愛知県 豊田加茂建設事務所 河川整備課長）
  - （委 員）中川 啓二（豊田市 河川課 課長）
  - （委 員）酒井 斉（豊田市矢作川研究所 所長）
  - （事務局）豊田市矢作川研究所・河川課
- 議 事
  - 1) 前回議事録の確認（資料1）
  - 2) 天然アユの産卵環境改善（資料2）
  - 3) 2/29 豊田市矢作川研究所シンポジウム（資料3）
  - 4) 令和1年度予算の執行状況（資料4）
  - 5) 令和2年度予算計画（資料5）

## 2. 議事録要旨

### （1）前回議事録の確認

事務局が資料1をもとに概要を説明。

### （2）天然アユの産卵環境改善

（赤堀）産卵が行われた場所はどのような物理環境だったか。

（山本大）産卵の最中であり詳細なデータは無いが、流速は60～120cm/秒、水深は20～40cmであった。

（赤堀）改善策を考える際の基本的なデータとなるため、把握しておいたほうがよい。

（山本大）次年度計画において調査方法を検討します。

（村上）過去の流下仔魚調査と調査地点が異なるが、比較するためにどのような補正を行うのか。

（事務局）横断方向の差異については、いずれも流心で採集していると判断するため補正しない。縦断方向については、流下する間に仔魚が減耗する可能性があるため、複数地点を比較した予備調査の結果を活用するか、補正のための調査をする必要がある。

(内田臣) 禁漁区はくまなく探索したのか。

(山本大) 禁漁区内全体をくまなくはみていない。過去のデータからあたりをつけている。

(高橋) 下流域で産卵が行われなかった根拠のひとつに、流下仔魚の調査結果を用いているが、産卵場の近くでは流下する時刻が早いため今回の調査時間帯では見逃す可能性がある。1年に1回程度は24時間調査を行った方がよい。

(高橋) 流下仔魚の層別調査で差が無かったと判断しているが、先行事例では水温が結果に影響すると考えられており、隣り合う調査日で比較した今回の結果では根拠として乏しい。調査地の水深次第だが、水温に差がある条件で比較して判断したほうがよい。

(山本大) 重要な指摘なので、次年度の調査計画において検討します。

(高橋) 産卵面積からすると産卵量は極端に少ないと思う。ふ化仔魚の推定流下数の7億から換算して産卵に寄与した親魚の数は10万尾ということになるが、これらの値も非常に少ない。矢作川の一番の問題は、越戸ダムより上流へ遡上したアユが再生産に寄与できないこと。そこがポイント。

### (3) 2/29 豊田市矢作川研究所シンポジウム

(村上) 「光合成活性」と「餌の増殖スピード」とは違う意味で、単位も違うと思う。現在の単位だと活性が大きい、小さいという比較になる。アユにとっての餌の増殖スピードは、単位面積あたりのクロロフィルa量を掛けないといけないのでは。

(内田朝) 光合成活性を分かりやすく説明する言葉が「増殖スピード」以外には思い浮かばない。

(内田臣) スライドタイトルの「餌の量、種類、増殖スピード」を「餌の量、種類、質」に変更してはどうか。

(高橋) 新しい礫を入れるとどうして光合成活性が高くなるのかがわからない。コケ植物があれば光合成活性が落ちるからというだけのことか。

(内田朝) そうだと思う。

(高橋) そこをわかりやすく説明する方がいい。

(内田臣) 標高の差の図で、礫置区のデータは逆ではないか。私の感覚では流心の方が深くなっている。

(白金) 確認する。

(赤堀) 粒径組成ごとの変化が示されていない。前置きがなくローリングや転動などの専門用語が出てくるのでわかりにくい。前提になる資料2、3枚が必要。これまでの情報から流量を想定してどれぐらいの規模の出水でどれぐらい河床材料が動くかだいたいわかるはず。転動するのかクレンジングするのかの説明が必要。

(山本敏) 豊橋河川事務所からは、矢作川での土砂管理の取組全体を紹介いただくのはどうか。

(神本) 承知した。

(4) 令和1年度の予算執行状況

事務局が資料4に基づき説明。委員から意見無し。

(5) 令和2年度予算計画

事務局が資料5に基づき説明。委員から意見無し。

以 上